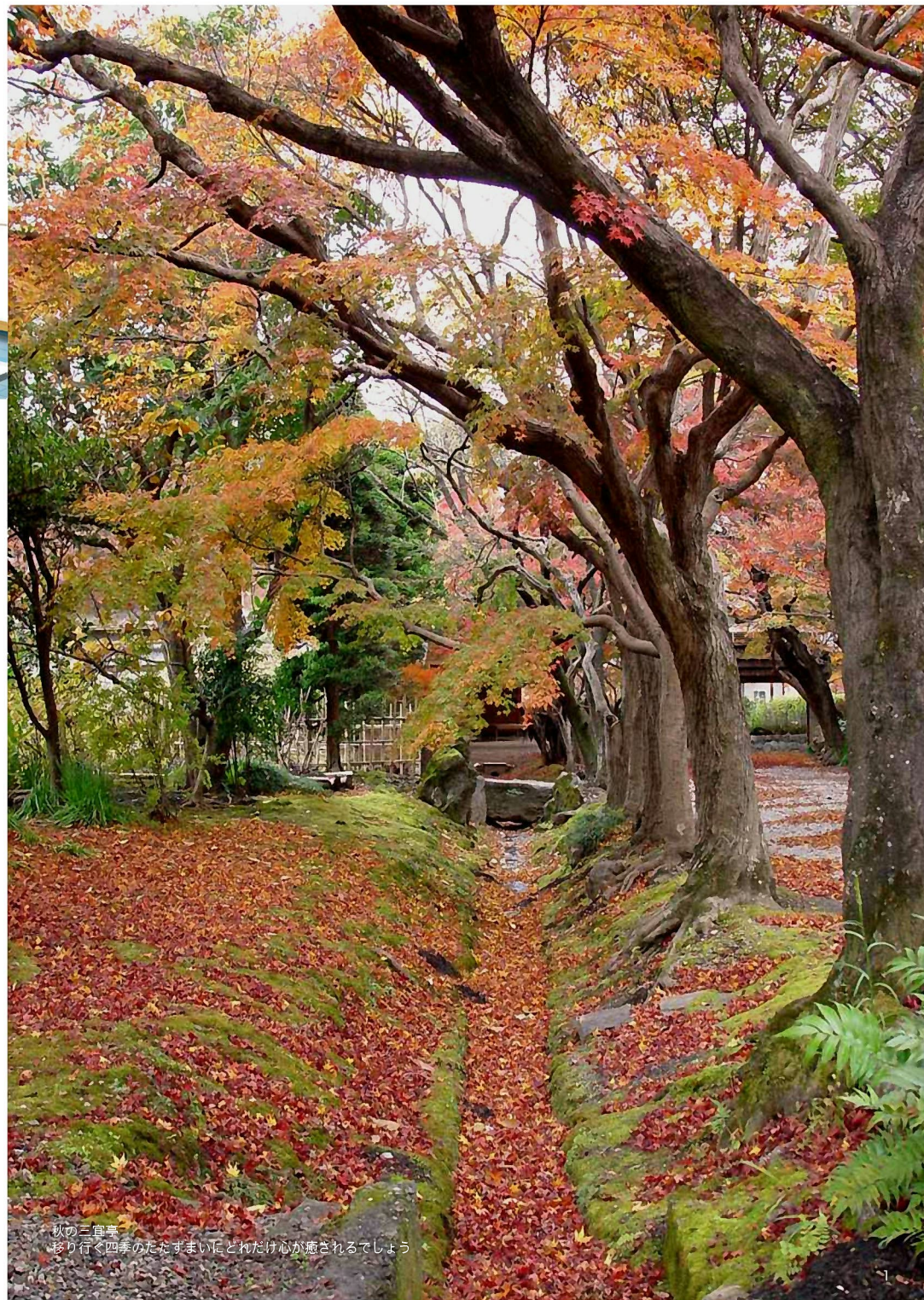


心豊かな暮らし

縁
en

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

2007 Vol.4 autumn



3 ■特集

無垢のぬくもりに 包まれて

岐阜県 E様邸

7 ■環境 ―「GREEN COURT 荒尾II あおぞらの街」

あなたのお庭を自慢して下さい

9 ■矢橋グループの街づくり ―「GREEN COURT 綾戸 川のほとり」

美しい青空が広がる街

12 ■矢橋工房 ―漆と付き合う

矢橋工房新作展

13 ■矢橋グループ ―事業部紹介 「三星磁業株式会社 グリーンコート事業部」

矢橋グループ本社屋エクステリア

■連載

中山道赤坂つれづれの記 文/清水 春二

赤坂お茶屋屋敷(四)

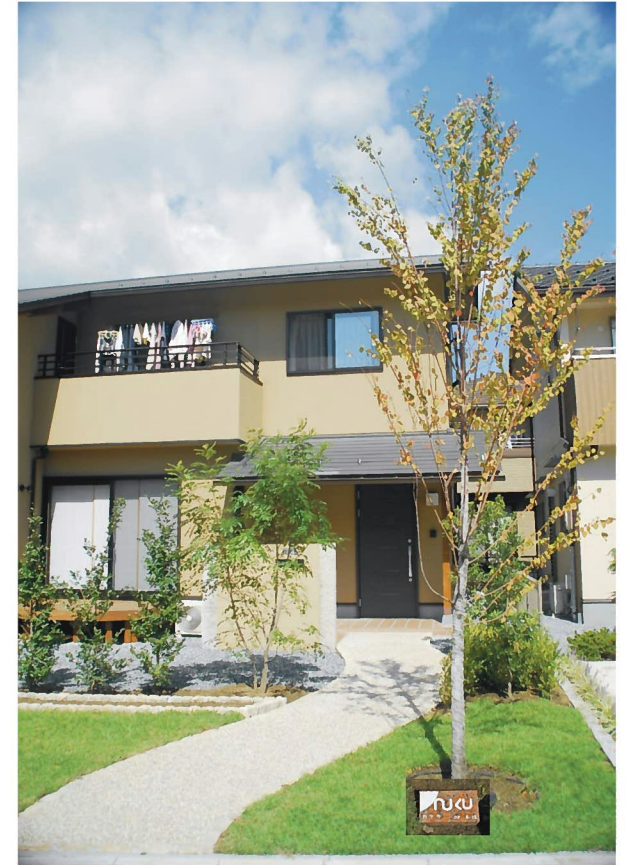
秋の三食亭
彩り行く四季のたふすまいにとれだけ心が癒されるでしょう



■特集

無垢に包まれる ぬくもり

岐阜県 E様邸



設計担当

アーキテクト設計事務所
高崎 順治

お施主様こだわりのLDKは、25帖の広々とした空間や、壁の塗り仕上、無垢材にて製作したダイニングテーブル等、家具類のご採用も頂き、無垢を使った高級感溢れる住まいをご提案させて頂きました。



営業担当

木材事業本部 住宅部
太田 信之

緑豊かな環境の中に建てられたお宅に可愛い双子のお嬢様が遊ぶ姿が良くお似合いです。お嬢様の健やかな成長とご家族のお役に立てるお付き合いが出来る事を願っております。

ドデッキ。今までのアパート暮らしと違い、気兼ねなく外でも中でも、二人で楽しそうに走り回っています。」と奥様。落ち着いた環境の中で、ゆったりと寛げる、趣きのあるリビング。明るく静かなこの街には、電柱や電線がありません。「今まであまり意識していませんでしたが、やはり電柱や電線がないと、すっきりしていてとても気持ちよく、街並み全体がきれいに見えるんですよ。」
家族みんなで「矢橋グループ育苗場」にて、庭に植える木を選んで頂きました。樹種を選ぶだけでなく、実際に見て触って決めて頂いたのが家族の一員として可愛がって頂けるのではないのでしょうか。E様邸のかぞくの木「nuku」も、かわいい双子のお子様と共に元氣よく育ってくれることでしょう。

「この落ち着いた雰囲気がいいですね。」
「縁シリーズ」モデルハウスの雰囲気を感じて頂いたE様。（縁シリーズ―昔ながらの日本の家族の為の家「民家」その中に「住まいの原点を見つけた家」）「こだわったのは、広いリビングと壁掛けテレビ、ダイニングの掘りごたつと丸い障子窓。あとは、イメージだけ伝えてお任せしましたが、実際に暮らしてみても、当初思い描いていた以上の満足感があります。」家具も無垢材を使用したオリジナル製品を何点か造らせて頂きました。ダイニングは、無垢の大きなテーブルに掘りごたつ、畳に座って、家族みんなで団らんができます。
リビングの家具も、オリジナル無垢フローリングや、塗り壁の雰囲気に合わせてみました。
「地盤調査・改良から基礎工事、設計、材料の仕入れ、加工、施工、お庭づくり、家具の製作まで、全て一貫して行っていることや、他社メーカーでは造れない温もりのあるフローリングや家具に惹かれました。友人たちにもとても好評ですし、この良さをもっと多くの方に味わって頂きたい。」とご主人様。
「子どもたちのお気に入りの場所は、大きなテーブルがある掘りごたつとお庭に繋がるウッドデッキ。今までのアパート暮らしと違い、気兼ねなく外でも中でも、二人で楽しそうに走り回っています。」



おいしょうでしよ。
わが家のなすび。



採れたて野菜をご近所におすわけ。
家庭菜園をはじめてからご近所の方と、より仲良くなりました。

紫式部も、もう7年。

いろんなお花を育てています。

先日、50以上のチューリップの
球根を植えました。
大変だったけど・・・
存が待ち遠しい。



ずっと大切に育てて来たキンカン。
今年もおいしょうな実を
つけてくれています。
早く色づかないかな。



営業 杉山 達也 営業 太田 信之

お客様ご自慢のお庭を取材してきました！

慣れないカメラを手に、あおぞらの街に取材に出掛けると、どのご家庭にも素敵なお庭が目につき、私たちも楽しく取材をすることができました。

残暑の続く中、この街にお住まいの皆様がお庭のお手入れをして頂いているおかげで、美しい街並みへと発展している事を実感し、心からうれしく思いました。

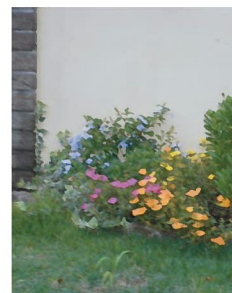


バラはお手入れが大変なんです。
でも、この一時の美しさのために一年中手入れをしています。
きれいでしょ。

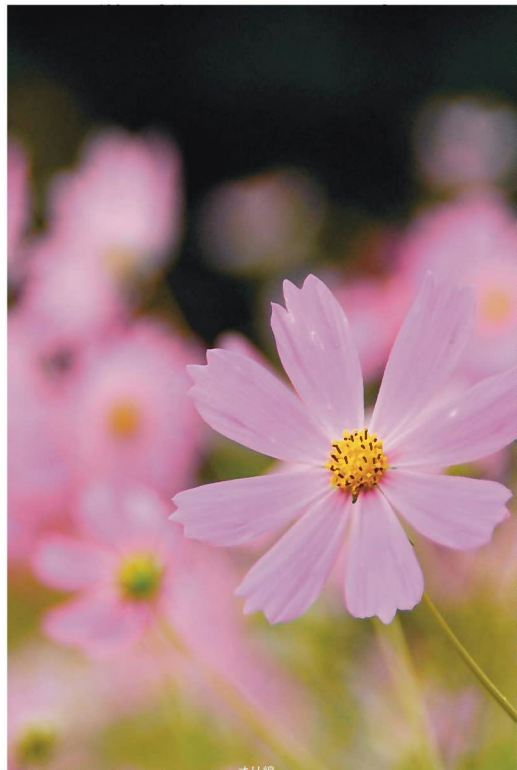
お庭にテーブルを置き、お花を植えてから、親戚、友人、ご近所さん
みんながここに集まるようになりました。
こどもたちもお気に入りのようです。



玄関まわりは特に気をつけています。
お客様にも季節を感じて頂きたいし、
自分も楽しみたいですからね。



■環境「GREEN COURT 荒尾Ⅱ あおぞらの街」
あなたのお庭を自慢して下さい



お客様ご紹介はがき

■ あなた様は現在、矢橋グループの住宅にお住まいですか？

☐ はい（ご入居時期 年 月頃／担当： ）
☐ いいえ

ふりがな お名前	
ご住所	〒
お電話	
E-mail アドレス	

■ ご紹介頂けるお客様について以下の項目をご記入下さい。

ふりがな お名前	〒
ご住所	
お電話	

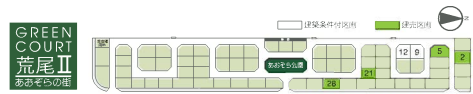
お探しの住宅
☐ 注文住宅 ☐ 分譲住宅
☐ その他（ ）

お客様が本書面に記載された個人情報、当社の営業活動の為に使用することがありますが、法律で定める場合の他、お客様の承諾なしに他の目的には使用致しません。

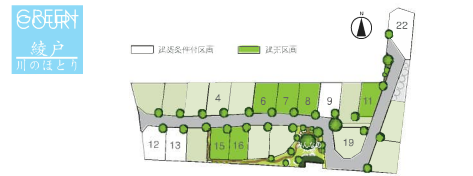
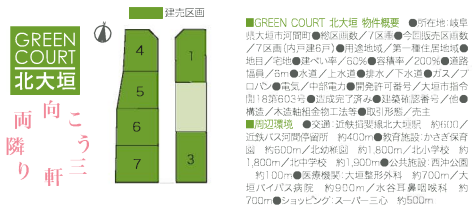
お客様ご紹介のお願い。

お知り合いの方で、お住まいをお探しの方は見えないか？ご紹介して頂きました方には、1,000円分の図書カードを差し上げます。尚、先様のご契約に至った場合は、別途謝礼をご用意しております。

物件情報



■おそらの町 物件概要 ●所在地 設楽郡大田市荒尾町字美々地 ●旧換算地 1,874.56㎡ ●地区画 65区
吉 ●今回販売区域／旧区画(内戸建4戸) ●敷地面積／205.25㎡ ●地積換算地 15,752.50㎡ ●
16.85㎡ 100坪 ●用途 排水／下水道 ●用途地域 ●工業地 ●地目／宅地 ●建ぺい率／60% ●容積率／200%
●道路幅員／5m ●水道／上水道 ●排水／下水道 ●ガス／プロパン ●建築確認番号／吉建住第1053097号他
●開発許可番号／大田市指令第15第353号 ●取引形態／売主
■周辺環境 ●交通 ●JR東海道新幹線 約500m／JR東日本新幹線 約100m ●教育施設 西都中学校
約1,300m／牛原小学校 約200m／中津小学校 約200m ●金融機関 大田信用金庫荒尾支店 約100m
／大田信用金庫荒尾支店 約800m／大田信用金庫 約1,800m ●公共施設 荒尾郵便局 約100m ●医療
施設 北都クリニック 約500m／金沢病院 約500m ●ショッピング トミダヤ荒尾店 約600m／平和堂ノースウ
ェスト店 約400m／パコ一興産店 約1,400m



■GREEN COURT 黒戸川のはとり 物件概要 ●所在地 設楽郡大田市黒戸川字河原 ●地区画 7区画
22区画 ●今回販売区域／旧区画(内戸建6戸) ●敷地面積／205.25㎡ ●地積換算地 15,752.50㎡ ●
16.85㎡ 100坪 ●用途 排水／下水道 ●用途地域 ●工業地 ●地目／宅地 ●建ぺい率／60% ●容積率／200%
●道路幅員／5m ●水道／上水道 ●排水／下水道 ●ガス／プロパン ●建築確認番号／吉建住第1053097号他
●開発許可番号／大田市指令第15第353号 ●取引形態／売主
■周辺環境 ●交通 ●JR東海道新幹線 約500m／JR東日本新幹線 約100m ●教育施設 西都中学校
約1,300m／牛原小学校 約200m／中津小学校 約200m ●金融機関 大田信用金庫荒尾支店 約100m
／大田信用金庫荒尾支店 約800m／大田信用金庫 約1,800m ●公共施設 荒尾郵便局 約100m ●医療
施設 北都クリニック 約500m／金沢病院 約500m ●ショッピング トミダヤ荒尾店 約600m／平和堂ノースウ
ェスト店 約400m／パコ一興産店 約1,400m



川のはとり 15号 リビング



■矢橋グループの街づくり「GREEN COURT 川のはとり」
美しい青空が広がる街

目が覚めると
小鳥が鳴いている
もう少し庭が広いといいなあ
電柱の無い街に住みたい
そびえるような並木道を
歩いてみたい
部屋に寝そべっていると
せせらぎが聞こえてくる
いつもお星さまと
お話ができる
新緑も
夏の暑さも
紅葉も
初霜も
全てがいとおい
人の住むべき場所って
ありますよね ね！



暮らしの美

自分の気に入った
美しい物に囲まれて
暮らすことが究極の贅沢だと思えます。
ちよつと気分を変えて
根来の器に
いつものメニューを盛ってみるだけで
食卓の景色が変わります。
ほんの少し楽しむことが
心のゆとりにつながります。
暮らしの中のアクセントとして
矢橋工房のうるしの器をお使い下さい。
毎日お使いいただける器を
取り揃えました。

■矢橋工房―漆と付き合う 矢橋工房新作展

猛暑の夏も終わり、清々しい秋の到来です。
秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋…。
秋と言う季節は、さまざまに私たちを惹きつける楽しみをもたらしてくれます。
さて毎年開催される、矢橋工房新作展。今年のテーマは「暮らしの美」。
毎日の暮らしの中に、根来の器を一つ…。それだけで、食卓の風景が変わり、
『美』を楽しむことで心のゆとりが生まれます。
さあ芸術の秋！あなたもお気に入りの一品を探しに出掛けてみませんか？

工房展のご案内

■岐阜 十六銀行 本店 (岐阜県岐阜市神田町 8 丁目 26)
2007 年 10 月 9 日 (火) - 10 月 23 日 (火)

■名古屋 名鉄百貨店 本館 10F アートギャラリー I (愛知県名古屋市中村区名駅 1-2-1)
2007 年 11 月 7 日 (水) - 11 月 13 日 (火)

■東京 矢橋工房 銀座店 (東京都中央区銀座 4-3-2 清水ビル 2F)
2007 年 12 月 1 日 (土) - 12 月 16 日 (日)

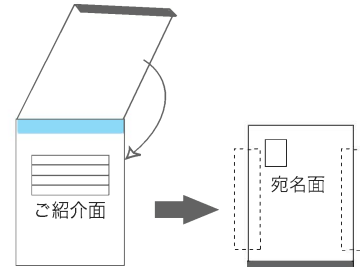
お問い合わせ先：矢橋工房 岐阜県不破郡垂井町 410-1 TEL：0584-22-3684 E-mail：keiko@yabashi.co.jp

漆

矢橋工房

<http://www.yabashi.co.jp/craft/>

個人情報保護のため
この面をハガキのカバーとして
お使い下さい
(カバーをせずにそのまま送って頂いても結構です。)



お手数ですが、点線部分を
セロハンテープで接着して下さい。



「緑シリーズ」モデルハウス リビング

お問い合わせは



YABASHI

矢橋林業株式会社

住宅部 〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐 410-1 TEL.0584-22-0001
品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 認証取得企業
岐阜県林業振興会 岐阜県木材流通センター 岐阜県木材流通センター 岐阜県木材流通センター 岐阜県木材流通センター 岐阜県木材流通センター

フリーダイヤル

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

0120-884-039

携帯電話からでもご利用頂けます。



オリ縁

郵便はがき

503-8790

4 5 3



料金受取人払郵便

大垣局承認

70

差出有効期間
平成 21 年 9 月
30 日まで

(切手不要)

岐阜県不破郡垂井町表佐 410-1

矢橋林業株式会社

住宅部 行

季刊誌に関してのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

ありがとうございました。

■矢橋グループ事業部紹介「三星鉱業株式会社 グリーンコート事業部」 矢橋グループ本社屋エクステリア

三星鉱業株式会社のグリーンコート事業部は、土木、造園、土木景観、エクステリアの4チームで構成されています。当事業部は、弊社が所有する石灰石鉱山の緑化を行うため、十年前に設立されました。これまでの間、緑化技術・土木技術を習得しつつ、地盤調査、地盤改良、基礎工事、エクステリアと造園工事を手がけております。

当事業部の主目的である鉱山緑化の業務は、非常に多岐に渡っています。鉱山、周辺森林、金生山緑化復元実験地等に植物について調査を行い、その調査結果をもとに緑化に用いる植物を選んでいきます。そして、選んだ植物の種子を採集し、苗の育成、採掘跡への植栽、その後の追跡調査を行っています。鉱山緑化を行うには、まずこの地域の自然環境を知り、それを取り戻すよう努めることが大切であると考えています。



金生山森林復元実験地



調査風景

さて、このたび当事業部が手がけた矢橋グループ本社屋のエクステリア工事が完了致しました。本工事は、早川正夫建築事務所、早川正夫先生の図面とイメージを基に、矢橋龍宜社長のご意向を伺いながら進められました。正門を入ると大理石と透水性コンクリートを使用したアプローチが玄関まで続きます。大理石の石張りは数種類の色を選び、ランダムに配置しました。それにより平坦になりがちな地面にアクセントが付き、味わいのあるアプローチとなりました。駐車場は保水機能を備えたインターロッキングを使用し、間に芝を敷き詰めた緑化駐車場としました。保水・透水性機能を重視したことにより、水溜りの発生と路面スリップを防ぎ、雨水や散水を大地に返して植物を潤すなど、地球環境も配慮しました。樹木は自然な雰囲気を出すために雑木を数多く使用、花や実・香りを楽しめるものを選定しました。高木のほとんどは金生山にある「矢橋グループ育苗場」の樹木を使用しました。この育苗場には、山林を維持していくために間引いてきた樹木などが植えられています。自然木である為一本一本樹高や枝振りが異なり、味わいのある樹形となっています。



お庭は出来上がった時が完成ではありません。樹木は生長し、自然素材は年々味わいを増していきます。手入れを加えることで、本社は美しい赤坂の町並みのひとつとなります。訪れるお客様が自然の潤いと伝統的な赤坂の空気を感じて下されば幸いです。



すべての人にとって生まれ育った故郷は、その人に大きな影響を与えていると思います。街の景色、ご近所の皆さん、その町の歴史、文化全てがその人の人格の形成に無意識のうちに影響を与えているのだと思います。自分の故郷を愛し、誇る事が出来るのかどうか、人生のうえでは大きな事であると思います。

私たちは、お施主様のお子様にとって、故郷となる街をつくっているのだと自覚が必要だと思っています。新開地であっても、歴史や文化のある地域を選び、風景は自然を望むことができ、住宅の周りにはみどりがあるにあり、ご近所とは古くから知っていたようなご近所づきあいがある。我々は、いつもこのような場所を提供する努力をしていくべきだと思っています。

私は赤坂に生まれ、この町にずっと住んできました。この地で生きていく為に何をしなければならなかったのかを、赤坂で教えられて育てられたと思っています。また、赤坂の歴史、文化にも大きな影響を受けたと思っています。そして、私は自分の生まれ育った「赤坂」に強い思いと誇りとまでは言えませんが、愛情を持っています。私たちは、お施主様をはじめ、ご家族にとつての「故郷」を造る自覚と責任を持たなければならぬと思っています。

矢橋林業株式会社

代表取締役社長 矢橋龍宜

うみゆり連載集

中山道赤坂つれづれの記

赤坂お茶屋敷（四）

清水 春一

お茶屋敷の龍神塚古墳は七世紀の終わりごろのものとは推定されています。恰度このころは、赤坂金生山の上に勅願寺として明星輪寺（虚空蔵さん）を創建された女帝持統天皇の時代か、或いは持統天皇の旦那さまであつた天武天皇や、その兄君である天智天皇のころまで遡る時代と考えられます。これらの天皇の時代は、美濃地方に大きな影響をもたらした事件が幾つかあります。龍神塚古墳はそのうちの何かの因縁につながる豪族、貴族のうちの誰かの墳墓であろう、という推測が成り立ちそう、興味と関心と呼びます。

勿論、わが国の古墳時代には、全期間を通じて非常に多くの古墳が築造されました。古墳が密集、散在しているここ美濃地方と大和朝廷との結びつきが、どのような実情にあつたかは、まだ完全に解明されていません。それでも、従来の研究において、日本六十余州といわれた各国々の地方豪族たちよりも、美濃国の豪族の実力や、中央政権との関係はよ

り緊密なものがあつて、他の諸地方とは異なつたものがあるのではないかと考えられています。その意味からも、赤坂地域の古墳の密集状態は、埋もれた歴史の中に秘められた事実が豊富にあつて、その解明に大きな期待と関心が寄せられているわけです。

さて、お茶屋敷の龍神塚古墳です。これも実はまだ正式な調査は行なわれたこともなく、そのような記録も、実証する資料もありません。具体的に紹介する物は何もないのですが、現地の状況から判断すると、既に過去に荒らされた形跡があり、めばしいもの（副葬品である貴金属類、玉石類などの装身具や、その当時貴重品として扱われていた土器類の生活用具、または工具、武器などのうち特に金銭的価値のあるもの）は盗掘されているのではないかと考えられます。いづれにしても蛇神の棲み処といわれ、信仰的な面から崇められ、祭祀されてきていますので、

むやみに手がつけられてはいないようです。正式に発掘調査が行なわれるとしたら、想像を許さぬ何か、秘められたものの解明につながるものがあるだろう、と考えられます。

この古墳はいわゆる円墳ですが、その原型は中国大陸にみられる高塚墳墓の様式です。わが国の大和時代、または古墳時代といわれる初期（三世紀）から後期（七世紀末ごろ）に及んで取り込まれ、築造されたものです。中でも前方後円墳はわが国独特の文化性をもつ超大型のもので、それらを除く円墳をみても、初期のものとは極めて素朴なもので、簡単な堅穴墳墓であるのに対し、後期末期においては、同じ円墳であっても、構造や内容は比較にならぬ立派な施設となります。龍神塚古墳もそのようなものの一つです。

金生山の石灰岩を運んで、羨道、女室を全部石組みで仕立て、畳一枚ぐらいからそれ以上もある大きな岩石を上部の蓋として置いています。その天井から奥に連なる壁面（奥壁）の岩石もまた、天井石に劣らぬものを使用しているなど、すべて石を積み上げて大きな部屋をつくり、その中に遺体を納めた棺を葬り、いろいろの副葬品をも納めています。そうした石室の上に土盛りして外観は土饅頭形の円墳となつていて、われわれ素人の眼には、一見しても堅穴式か横穴式かはわかりにくいものです。しかも幾星霜の歳月を経た今日では風雨にさらされ、覆土が流失して原型が変貌していたりしています。山頂、山腹地帯、或いは平地においても、それが高塚墳墓であり、高貴の、または権力、勢力のあつた身分の高い人が、その権勢を誇つてつくつた場所（墓）であるということ、すぐにはわからないのも無理からぬことでしょう。

自分の死後、安定する場所としての墓もつくれず、儚く死んでいった多くの庶民を偲ぶとき、民主主義社会の人間尊重第一義の現代は、誠に感無量といわねばなりません。